

(第5回) 感染症研究拠点の形成に関する検討委員会
議事概要

日時	2020年1月16日(木)	15:00	～	15:45
出席者	別添の通り			
場所	中央合同庁舎8号館8階特別中会議室			

《冒頭挨拶》

○内閣官房 生田参事官

長崎大学のBSL4施設については、来年夏の引き渡しに向け、現在、建設工事が進められているところであり、長崎大学においては、住民の理解の促進に向けた取組や施設の安全対策の具体的な検討が着実に進められている。

今後も国・地元自治体・大学が連携・協力し、更なる地域理解促進に向けた取組や、安全性の実現に向けた計画を推進するとともに、施設完成後の運用や安全対策、研究内容について引き続き検討していくことが必要である。

《構成員の主な発言》

- BSL4施設整備に向けた予算措置について、2021年7月の施設の完成に向けて引き続き長崎大学に対して必要な支援を行うとともに、「長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会」を開催して、長崎大学が実施する安全性の確保と住民の理解などに向けた取り組みについて第三者の立場からチェックするなど、引き続き長崎大学の支援に努めたい。【文部科学省】

- BSL4施設の安全管理に関し、現在、リスクアセスメントと対応の検討結果、及び感染症発生予防規程の内容を含む、病原体の安全管理について定めた運用規則を作成している。

地域住民は、他の施設で扱わない病原体を扱う事に対する不安な気持ちを持っており、これを払拭するためには、地域連絡協議会等を通じて住民と積極的に交流し理解を得ることが大事である。

施設完成後は、地域の学校や住民を招いての施設見学会等を開催し、さらなる理解促進を図っていきたい。【長崎大学】

- 長崎大学による住民理解の促進は丁寧に行っていると思うが、住民にはまだ不安の声もあるので、安全面に関する住民への説明について引き続き工夫して取り組んでもらいたい。

また、緊急時の事故対応については、平素の訓練が重要だと思うので、住民の避難訓練等については、行政も連携してやっていきたい。

国においては、安全面の対策についても引き続き予算の確保をお願いしたい。

【長崎市】

- 運営予算に関する今後の見通しについて、施設が完成したとしてもBSL4として本格的に稼働するには時間がかかり、研究の中身とセットで予算を検討していくこととなるので、具体的に少し見えてきた段階で相談していきたい。【文部科学省】

(別添)

(第5回) 感染症研究拠点の形成に関する検討委員会
出席者

氏名	役職
安居 徹 (代理：生田 直樹)	内閣官房内閣審議官 (国際感染症対策調整室長) <主 査> (内閣官房内閣参事官 (国際感染症対策調整室))
松本 裕之	内閣官房内閣審議官 (危機管理審議官)
渡辺 その子 (代理：木村 賢二)	内閣官房内閣審議官 (健康・医療戦略室次長) (内閣官房内閣参事官 (健康・医療戦略室))
増子 宏 (代理：吉田 光成)	文部科学省大臣官房審議官 (研究振興局及び高等教育政策連携担当) (研究振興局研究振興戦略官)
奈尾 基弘 (代理：梅田 浩史)	厚生労働省大臣官房審議官 (健康、生活衛生、アルコール健康障害対策担当) (結核感染症課感染症情報管理室長)
大西 真	国立感染症研究所副所長
調 漸	国立大学法人長崎大学学長特別補佐 (感染症共同研究拠点・核兵器廃絶研究担当)
安田 二郎	国立大学法人長崎大学感染症共同研究拠点高度安全実験 (BSL-4) 施設設置準備室長
中嶋 健介 (オブザーバー)	国立大学法人長崎大学感染症共同研究拠点施設・安全管理 部門長
上田 裕司 (代理：中田 勝己)	長崎県副知事 (福祉保健部長)
武田 敏明	長崎市副市長